

令和5年度乙部中学校区

小中一貫教育研究中間発表会

【日 時】令和6年1月5日(金)14:45
【会 場】都南公民館・キャラホール

1

2. 研究テーマ

「郷土を愛し、自己有用感を高める児童・生徒の育成」

【サブタイトル】

小学校区 ～郷土のひと・もの・ことに学びながら～

中学校区 ～事前・事中・事後の学習活動の工夫を通じて～

4

1. テーマ設定の趣旨

(1)乙部中学校区課題

- ・学力の低迷
- ・自己有用感の低さ
- ・学校生活への消極的な様子

(2)テーマ設定の趣旨

- ・本学区の特徴である多彩な郷土芸能など豊饒な文化を活かす
- ・「郷土に学ぶ」活動に高い教育効果があることが伺われる

2

3. 目指す子ども像

- (1)郷土や自分のよさを理解し、郷土や自分に誇りが持てる子ども
- (2)郷土を愛する心を有し、郷土や社会に貢献しようとする子ども
- (3)自分や仲間、郷土について、その未来を明るく展望する子ども

5

改めて、「郷土に学ぶ」活動の主なメリット

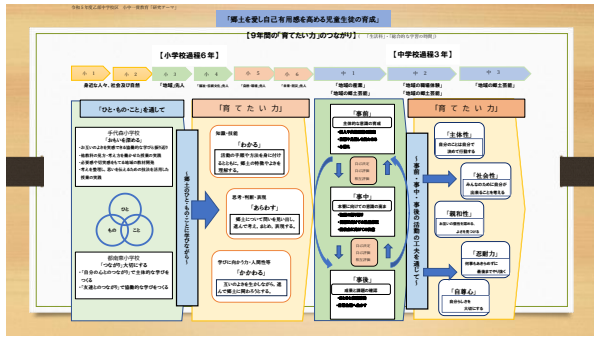
- ・郷土芸能等の文化や歴史の学びを通じた郷土理解の深化
- ・郷土理解が進み、郷土のよさを知ることによる郷土愛の育成
- ・地域の方々との交流を通じた社会との接点の多様化
- ・同学年及び異学年との交流の活性化による
 - 自他の親和性の高まり
- ・演舞や調査研究等を通じた役割意識の向上と協同性の伸長
- ・自ら立てた目標や計画に沿った活動を通じた粘り強さの涵養

3

4. 研究の内容

- (1)「つきたい力」
 - 「何を通じて学ぶか」
 - 「どのように学ぶか」

6



7

5. 令和5年度の取組

(1)授業実践

- ①児童生徒の学習活動
 - ・郷土の魅力を知る・学ぶ・深める学習
 - ・地域との交流活動
 - ・職場見学等のキャリア教育
 - ・ゲストティーチャーを招聘した授業

10

4. 研究の内容

(2)カリキュラムマネジメントについて
(総合単元的な学習指導計画について)

8

5. 令和5年度の取組

(1)授業実践

- ②指導者の実践交流
 - ・研究授業の相互参加
 - ・授業研究会への参加
 - ・発表会等への相互参観

11

令和5年度	総合単元的な学習指導計画	実施時期	実施場所	実施者	実施内容	実施のねらい
1	総合単元的な学習指導計画	1学期	本校	教員	総合単元的な学習指導計画の実施	総合単元的な学習指導計画の実施
2	総合単元的な学習指導計画	2学期	本校	教員	総合単元的な学習指導計画の実施	総合単元的な学習指導計画の実施
3	総合単元的な学習指導計画	3学期	本校	教員	総合単元的な学習指導計画の実施	総合単元的な学習指導計画の実施
4	総合単元的な学習指導計画	1学期	本校	教員	総合単元的な学習指導計画の実施	総合単元的な学習指導計画の実施
5	総合単元的な学習指導計画	2学期	本校	教員	総合単元的な学習指導計画の実施	総合単元的な学習指導計画の実施
6	総合単元的な学習指導計画	3学期	本校	教員	総合単元的な学習指導計画の実施	総合単元的な学習指導計画の実施
7	総合単元的な学習指導計画	1学期	本校	教員	総合単元的な学習指導計画の実施	総合単元的な学習指導計画の実施
8	総合単元的な学習指導計画	2学期	本校	教員	総合単元的な学習指導計画の実施	総合単元的な学習指導計画の実施
9	総合単元的な学習指導計画	3学期	本校	教員	総合単元的な学習指導計画の実施	総合単元的な学習指導計画の実施
10	総合単元的な学習指導計画	1学期	本校	教員	総合単元的な学習指導計画の実施	総合単元的な学習指導計画の実施
11	総合単元的な学習指導計画	2学期	本校	教員	総合単元的な学習指導計画の実施	総合単元的な学習指導計画の実施
12	総合単元的な学習指導計画	3学期	本校	教員	総合単元的な学習指導計画の実施	総合単元的な学習指導計画の実施

9

5. 令和5年度の取組

(2)研究推進

- ①カリキュラムマネジメント(総合単元的な学習指導計画)
 - ・令和5年度内に、年間指導計画として作成
 - ・各校の作成資料を持ち寄って、可能な範囲で調整
- ②記録の蓄積
 - ・学習シートの作成と活用
 - ・児童生徒の学習記録の保存
 - ・動画、画像データによる記録の保存

12

手代森小学校の実践



目標

生活科・総合的な学習の時間において、「郷土に誇りを持ち、自分や周りの人を大切にする児童」を育てるための授業改善を進めるとともに、「表現する」活動の在り方を、授業実践を通して明らかにする。

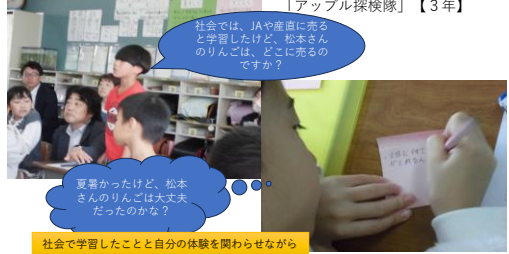
研究の重点

- 手立て1 ①子どもたちが必要感や切実感をもてる地域教材の開発
 ②現実的で具体的な状況と学習内容や学習活動を結びつけた授業の構想
 (ゲストティーチャーを導入した多様な授業づくり)
- 手立て2 ①見方・考え方を明確にした授業の実践
 ②考えを整理し、思いを伝えるための技法を活用した授業の実践

13

2 総合的な学習の時間

- ①子どもたちが必要感や切実感をもてる地域の教材の開発
 「アップル探検隊」【3年】



16

1 生活科

- ①子どもたちが必要感や切実感をもてる地域教材の開発
 「秋と遊ぼう～見つけたステキを伝えよう～」【1年生】



14

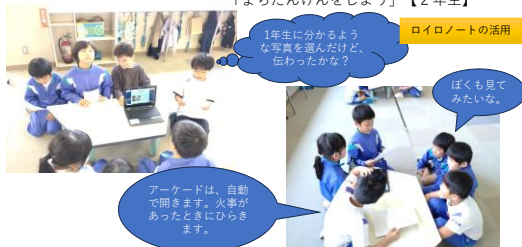
- ①子どもたちが必要感や切実感をもてる地域の教材の開発

「みんながしあわせなまち～わたしたちの手代森～」【4年生】



17

- ②考え方を整理し、思いを伝えるための技法を活用した授業の実践
 「まちたんけんしよう」【2年生】



15

- ② 考え方を整理し、思いを伝えるための技法を活用した授業の実践
 「環境について考えよう」【5年生】



18

② 考え方を整理し、思いを伝えるための技法を活用した授業の実践

「手代森の歴史～遮光器土偶～」【6年生】



19

重点1 自分の心とのつながり 課題設定の場面

第3学年 「都南東のすてきをさがそう」

地域の人とのかわり 授業のねらい

地域の人の話を聞き、興味・関心をもたせる。

授業の流れ

- ① 「左々川商店」ってどんなところ？ (思いや願いをもつ)
- ② 地域の人に話を聞く。(人とのかわり)
- ③ 50年も続く「左々川商店」のみりよくをさがそう。(探究課題)

どんなものを売っているかな？

22

6. 各校の実践

(2) 都南東小学校の実践

目標

思いや願いをもち、主体的に「ひと・もの・こと」に関わり、自分の課題を解決していこうとする児童を育てていく。

研究の重点

- 重点1 自分の心とのつながり**
- ・自分の思いや願い、考えをもち主体的に学んでいこうとする児童
- 重点2 友達とのつながり**
- ・友達の考えを交流しながら、協働的に学んでいこうとする児童

20

重点2 友達とのつながり 整理・分析の場面

第5学年 「盛岡の先人について学ぼう」

授業のねらい

他人の考えを書き、先人についての情報を関連付けたり比較分類したりする。

「盛岡さんは、「太平洋のかけ橋にになりたい」といふ思いをかなえるためにいろいろなことを勉強したんだね。」

23

重点1 自分の心とのつながり 課題設定の場面

第4学年 「受け継ごう さんさ」 授業のねらい

30年前の「さんさおどり」の写真

子どもの気付きを引き出し、興味・関心をもたせる。

授業の流れ

- ① 「かがやけさんさ」について関心をもつ。(写真の提示)
- ② 「かがやけさんさ」は、なぜ学校の宝と言われているのか考える。(探究課題)
- ③ 思いや考えをもつ。(予想)

21

重点2 友達とのつながり 整理・分析の場面

第3学年 「都南東のすてきをさがそう」 授業のねらい

付箋に個人の考えを書き、共通点や相違点を強調する。

「地域に長く続いているお店のみりよくは何だろうかね。」

「おいしいものやおいしい食べ方を知っていることだね。」

24

より発展した活動

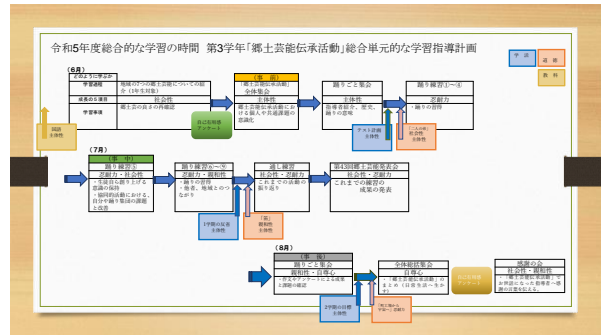
地域に根ざした店のPRポスター作り

子どもの思いの広がり

「知らない人にも、もっとよさを広げたいな。」

商品のよさを基に、愛顧を求めるとともに、「よさを伝えよう」としていい。

25



28

5. 令和5年度の乙部中学校の実践について

総合単元的な学習指導計画について

26

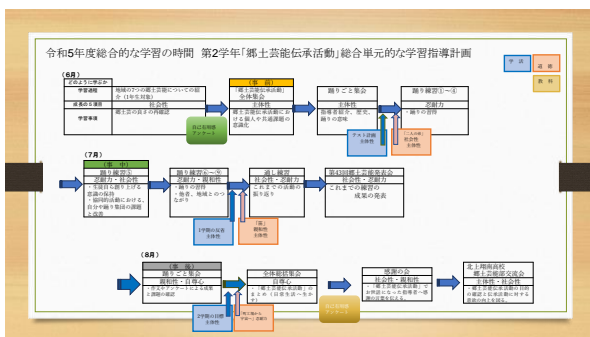
5. 令和5年度の乙部中学校の実践について

「事前」の学習活動

「郷土芸能伝承活動」3学年（「国語」+「総合的な学習の時間」）

1. 単元目標 「7つの伝統芸能の特徴を、魅力的に提案しよう」
2. 単元目標 相手が何を知りたいのかを考えて情報を集め、資料や機器などを活用して印象に残るプレゼンテーションをする。
 - (1)情報を集める。
 - (2)効果的な話の構成を考える。
 - (3)全校へのプレゼンテーションをする。
 - (4)学習を振り返る。
3. 指導計画

29



27

「郷土芸能伝承活動」3学年（「国語」+「総合的な学習の時間」）

取組の様子 (1)情報を集める。
(2)効果的な話の構成を考える。

30

「郷土芸能伝承活動」 3学年（「国語」＋「総合的な学習の時間」）
取組の様子 ③全校へのプレゼンテーションをする。



・動画での紹介

31

今日はみんなと話し合って、郷土芸能を正しく継承するには
何が必要かという課題
が必要だと思いました。
これから練習や発表では、各グループで発表を
準備していきたい。

「事前」
主体的な意欲の育成

今日はみんなと話し合って、郷土芸能を正しく継承するには
先輩をまねて、同じように練習するのは、郷土芸能の継承に
が必要だと思いました。
私たちが継承していくには、自分たちで練習することが
必要だと思いました。発表の準備も頑張りたいです。

郷土芸能活動に
対する必然性

34

5. 令和5年度の乙部中学校の実践について
「事前」の学習活動

「郷土芸能伝承活動」 1学年（「総合的な学習の時間」）

- 単元 「郷土芸能を正しく受け継ぐために必要なことを考えよう」
- 単元目標 乙部の郷土芸能について、正しく受け継ぐために自分たちに
できることを発見し、実行できるようにする。
- 指導計画 ①卒業生の作文、授業者の説明から、郷土芸能の魅力を知る。
②班ごとに個々の考えを共有し、まとめ、発表する。
③発表を聞いた内容をもとに、個々の今後の取り組みについて
まとめる。

32

5. 令和5年度の乙部中学校の実践について
「事後」の学習活動

「郷土芸能伝承活動」 3学年（「総合的な学習の時間」）

- 単元 「郷土芸能伝承活動で学んだことをまとめよう」
- 単元目標 3年間の郷土芸能伝承活動を終えて、
①何を伝承したのか。
②学んだことは何か考え、伝えあい、深めようとする。
- 指導計画 ①郷土芸能伝承活動で学んだことは何か考えまとめる。
②学んだこと、身につけたことを発表しあい、相互評価する。

35

【ワークシートから】郷土芸能を正しく伝承するには？



成長の5項目
【主体性】
一生懸命、責任感

33

「郷土芸能伝承活動」 3学年（「総合的な学習の時間」）
取組の様子 ②学んだこと、身につけたことを発表しあい、相互評価する



36

【ワークシートから】郷土芸能伝承活動で学んだことは？

私が郷土芸能伝承活動で学んだことは、人の気持ちも考え、自分
 ができることもやること
 かな。です。
 なぜなら、ついでにほかの人はなく、周りを見て
 判断の行動が大事だと感じた

成長の5項目
 【忍耐力】
 「全力で取り組む」

37

6. 成果と課題（乙部中学校）

- 【成果】・郷土芸能伝承活動の教材化が図れた。
 ・「具体的な取組」（「事前」・「事中」・「事後」を意識した指導を
 することにより、学習に対する生徒の意識の高まりが見られた。
- 【課題】・生徒が学習に対する必然性を見つけ、学習課題を自ら設定
 できるような手立てを講じたい。

40

【ワークシートから】郷土芸能伝承活動で学んだことは？

私が郷土芸能伝承活動で学んだことは、仲間の大切さ、郷土に対する
 知識、愛を深めた事
 かな。です。
 なぜなら、何気なく暮らしているが、知らなかった事、このよ
 うな文化があった。から今の僕達の生活がある

成長の5項目
 【社会性】
 シーズンとしての購買

38

6. 成果と課題（手代森・都南東小学校）

- 【成果】・生活科や総合的な学習の時間の地域教材としての年間指導計
 画の充実を図ることができた。
 ・整理分析の場面で教科の学びを生かして比較・分類・関連付け
 などの思考ツールを活用することができた。
- 【課題】・自分事として活動するための課題設定と振り返りの方法の実践
 ・子どもたちが主体的に活動することができる地域教材の開発。

39